

平成 2 5 年 8 月 1 5 日

発行 青梅市文化財保護指導員連絡協議会

青梅市郷土博物館（青梅市駒木町 1-684 Tel0428-23-6859）

火鑽（ひきり）

今年はスポーツ祭東京 2013（第 68 回国民体育大会並びに第 13 回全国障害者スポーツ大会）が開催されますが、9 月 28 日に味の素スタジアムで行われる開会式に、競技の行われる各市区町村で独自に採火された火が集められ、大会期間中炬^{きよ}火台に灯されるそうです。青梅市の火は、**武蔵**御嶽神社で古来の方法で起こした忌^い火^みを使用する事になりました。8 月 3 日、竹内青梅市長も参列され**武蔵**御嶽神社で採火式が行われました。そして、市民から募集したランナーなどにより炬火リレーされて永山公園に運ばれ、納涼花火大会の始めに点灯されました。この火種は別に保管され、味の素スタジアムでの開会式に運ばれます。

各地の神社では、神事などで使用する清浄な火を忌火といい、火鑽具をヒノキ板の上で回転させ、木と木の摩擦により古来の方法で火を起こします。

よく知られているのは、今年 10 月に御遷宮のある伊勢神宮です。伊勢神宮では毎日「日別朝夕大御饌祭^{ひ ごとあさゆうおお み け さい}」が行われ、朝夕二回、神様のお食事である神饌^{しんせん}が供されます。今日の一般的な神饌は生饌^{せいせん}といわれる、生のお米や魚、野菜、果物などですが、伊勢神宮では約 1500 年前より熟饌^{じゅくせん}といわれる、調理された神饌が献上されています。現在の品目は、御飯三盛、御塩、御水、乾鰹^{かつおぶし}、鯛などの干魚、海藻類の乾物、野菜、果物、清酒三献です。この御飯を調理するため、火鑽により毎朝忌火が起こされます。

また、**武蔵**御嶽神社では 1 月 3 日に太占祭^{ふとまにさい}が行われています。太占とは古事記・日本書紀などに記される古い占い方法で、忌火により薪を燃し、その残り炭で雄鹿の右肩胛骨^やを灼き、骨のひび割れ具合で吉凶を占うものです。その際行われる重要な儀式が火鑽で、神事に使用する清浄な火は、今日でも昔ながらの方法で起こされています。

今回神社で火起こしを行い、あわせて市民の参加者にも、市で用意した火鑽具で火起こし体験を行いました。ところが、あろう事か神社の火鑽はリレーのスタート時間に間に合わず、参加者の中で市長を始め、火起こしに成功された方がいて、その火で炬火リレーがスタートし、その後神社の火とあわせて永山公園まで引き継がれました。

火鑽による発火は、摩擦により起きた小さな火種を、乾燥したモグサや麻などの火口^{ほくち}で大きくし、杉の葉などに移し発火させます。火打ち石による発火も同じで、この火口がよく乾燥されている事が重要になります。今回神社の火口は、状態が良くなかったのかも知れません。しかし、市民の方々など多くの人々の手で無事炬火リレーが行われましたので、スポーツ祭東京 2013 も、多くの皆様の協力のもと盛大に開催される事でしょう。

参考文献：『伊勢神宮』（角川選書）矢野憲一著

（文責 須崎 直洋）

